

人類が自ら登場する劇としての、大量逮捕とアメリカと世界の再生

Greatchain

2018/12/03

SGT Report というウェブサイトが今、おそらく最も充実したサイトの一つで、次々に送られてくるホワイトハウス・インサイダー “Q” の、洞察力ある、予言めいた現状分析のテキストを論評している。米上層部の一斉逮捕（泥沼掃除）の決行を、12月5日と断言したのも彼である。

彼は「何ものも、起ころうとしていることを止めることはできない」と言い、また、

あなたは逮捕を見る用意があるか？

あなたは苦痛を見る用意があるか？

あなたは歴史の一部になる用意があるか？

と言っている。さらには「**未来が過去を証明する**」とも言っている。これはわかりにくいようだが、今、起こっていることが何であるかを理解すれば、よくわかる話である。今起こっているのは善悪闘争であり、神と悪魔の、というより神に反逆する者が、与えられた時間内で、どこまでやれるかの闘争であるから、たとえば「未来が過去を証明する」というのは、単純なことで、カリフォルニア大火がわかりやすい例である。カリフォルニアでは、何年も前から同じような大火災がずっと起こっていたが、（前の SOTN の記事で言っていたように）自然のものか、人工のものか区別するのは非常に難しかった。だから、何となく胡散臭い程度以上には行けなかった。しかし悪がますます徹底されて、ごまかしができなくなれば、今度のようなことになる。それは兵器による意図的な犯罪であることが、はっきり証明された。つまり**未来が過去を証明した**。これは、「悪い麦」と「良い麦」が、ますます明瞭に分かれていく比喩（マタイ：13章）によっても説明できる。

これは支配する悪い勢力と、対抗するよい勢力が、互いに犠牲を出しながら（「苦痛を見る」）も、よい勢力の勝利に終わる戦いである。これは神と悪との代理戦争ともいえる。私は前にこれを「今は、神と悪魔が同時に顕現する時代」だと言った。

<http://www.dcsociety.org/2012/info2012/171027.pdf> ただ、悪魔は神と対等の存在でなく、神に反逆する存在である。

“Q” と名乗る人物が、そのように考える人であることは間違いなく、彼を解釈する人々もすべてそのように考えている。私はまた、このような現在の真実を説明するのに、シェークスピア劇の『マクベス』を使った。これは大逆の罪を犯した武将マクベスが、自分が天から許されぬ、滅びに至る犯罪者であることを、意識の底では知りながら、それに抗う物語である。まず、明後日から始まるという現実の大量逮捕も、大統領に背き、国家国民に敵対する大逆犯人であることが共通する。また、マクベスは王位にある間は権力者だから、自分を怪しむ者をいくらかでも亡き者にするが、これは恐怖からである。これと同じことを、現在の、深層国家（トランプと対立するワシントン政権）や民主党が、やっている。また、ある解説者は、現在のアメリカでは「善は悪であり、悪が善である」と言っていたが、これも同じ言葉を、『マクベス』の冒頭に現れる3人の魔女が言っている——Fair is foul and foul is fair. 明らかかなことは、彼らが追い詰められて大胆なことをやればやるほど、マイナス点を稼いでいることである。キャバノー事件、中間選挙、カリフォルニア攻撃、すべてがそうだった。

もう一つ、評者たちがよく言っているのは、「今は覚醒の時だ」という言葉である。「これだけ徹底的に騙されていながら、いまだに目覚めないとは何ということだ！」と、怒りかつ呆れているのである。これはわが国のメディアを見ていても、同じである。私はつい先日まで、アメリカの様子を見ていて、もし今すぐ選挙をすれば、ヒラリーが勝つのではないかと思ったほどだ。それほど米国民衆は愚かに見えた。しかし今は、彼らの意識は一気に変わりつつあるのではないかと思っている。取材の角度によって違うのだろう。どうかそう願いたい。

この人たちは、「覚醒」というとき、騙された状態から目覚める、という意味で言っている。私自身もこの言葉を、これまで何度使ってきたか知れない。しかし私はほとんどの場合、これを「二重の覚醒」として使っている。すなわち、巧妙なプロパガンダに気づくという意味と、霊的により高い次元に目覚めるという意味である。おそらくその通りになると思われる。彼らが人間全体を、ぐうたらな状態にして奴隷化しようとしていることに「気づいた」ときは、存在のより高い次元に「気づいた」ときであろう。言い換えれば、これは、人間が何のために生まれてきたのかに気づくことである。それは、人間としての責任感というものがあることに、気づくことともいえる。それはまた、唯物論・無神論のような世界観が全く通用しなくなる時である。

“Q” は、「あなたは**苦痛**を見る用意があるか？」と言っている。おそらく大量逮捕とともに始まる戒厳令には、双方からの暴力や流血が伴うのではないだろうか？ 被逮捕者の中には、いくつかのメディアも含まれているはずだと言っているから、メディア一般はどうする

のだろうか？ 報復のために、トランプを極悪のファシスト指導者として報道するのだろうか？ しかしその場合は、火に油を注ぎ、かつ自殺を覚悟でやったことになる。「逆賊」の天秤は、ここわずかの期間に、確実に逆転しつつあるからである。それくらいの明察は、どのメディアでも具えていると思うが、NWO グローバリストとともに、心中する決意をしているメディアもあるかもしれない。「**起ころうとしていることを、止めることはできない**」のは、真実であるとだけ言っておきたい。もう一つ、この泥沼掃除が終わり、全体が軌道に乗ったら、自分は大統領をやめるとトランプは言っている。彼は自分に政治的野があると思われたくなく、実際にはないことがこれでわかる。